

## 令和4年度子どもが出合う文化についてのアンケート結果概要

## 1 目的

「伊賀市文化振興プラン前期実行計画」では、基本方針の1つに「子どもたちが文化芸術を体感できる機会を拡充する」ことを掲げており、公益文化団体等と連携して文化に出合う機会の創出に取り組むこととしている。

この取り組みの効果検証や現状把握のため、小中学生（保護者）に文化に関するアンケートを実施する。

## 2 対象

市立小学校の2・4・6年の児童及び市立中学校の2年の生徒の保護者

2,688人（小学2年：623人、4年：667人、6年：685人、中学2年：713人）

## 3 実施

(1) 期間 2023（令和5）年1月11日から22日まで

(2) 方法 各学校を通じて配布したチラシに掲載のQRコードを読み取り、スマートフォン等から回答

## 4 回答状況

回答数 669人 / 対象 2,688人（回答率 24.9%）

## 5 アンケート結果

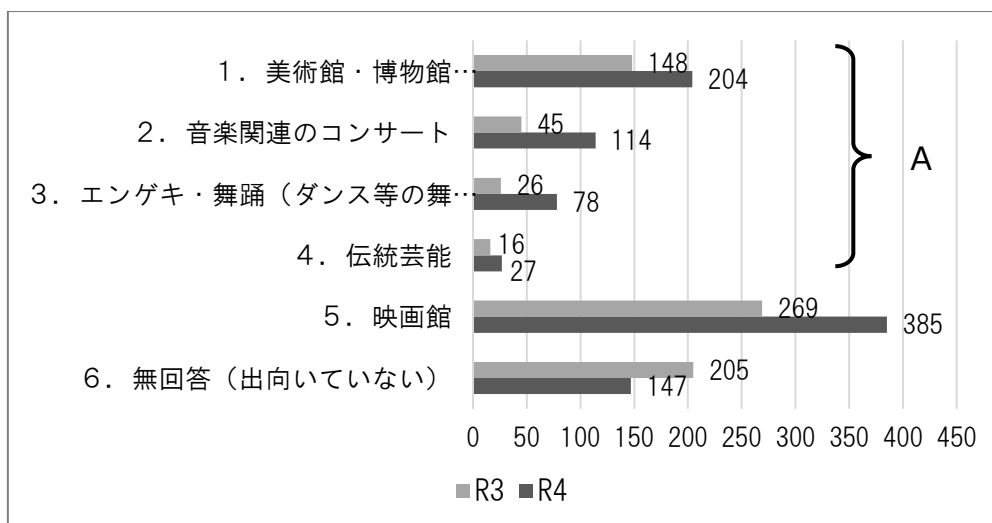
問1 アンケートの対象となるお子さんの学年を選んでください。

※令和4年5月1日現在の在籍数（学校教育課）

学年	回答人数	児童生徒数※	回答率
小学2年	203人	623人	32.6%
小学4年	187人	667人	28.0%
小学6年	167人	685人	24.4%
中学2年	112人	713人	15.7%
<b>合計</b>	<b>669人</b>	<b>2,688人</b>	<b>24.9%</b>

(参考)	令和3年度	575人	2,769人	20.8%
------	-------	------	--------	-------

問2 お子さんが、この1年間で出向いた市内外の施設・催しがあればすべて選んでください。(複数回答) 単位：人



1年間で会場へ赴くなどして文化芸術を鑑賞した子ども (A) 423人

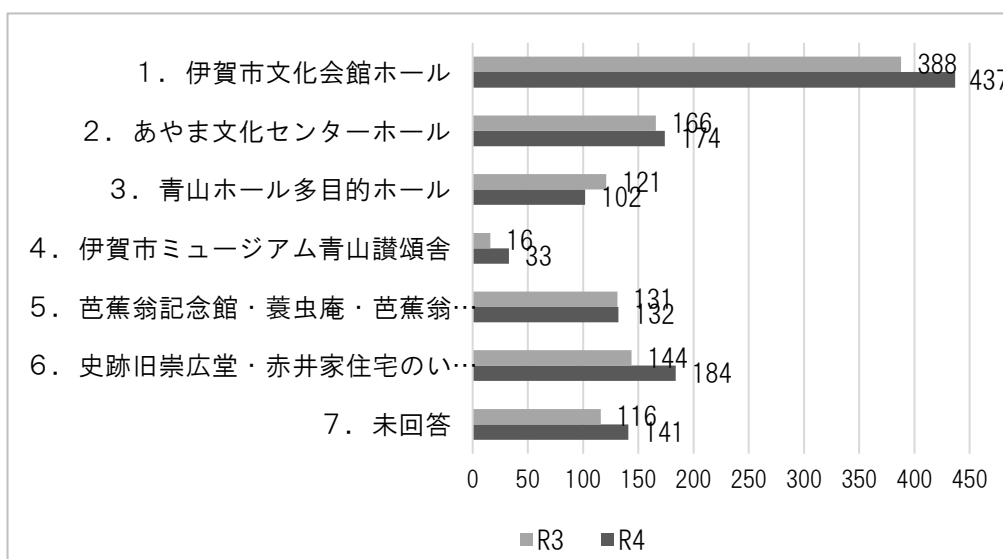
(参考) 令和3年度 235人

回答人数におけるAの割合 63.2%

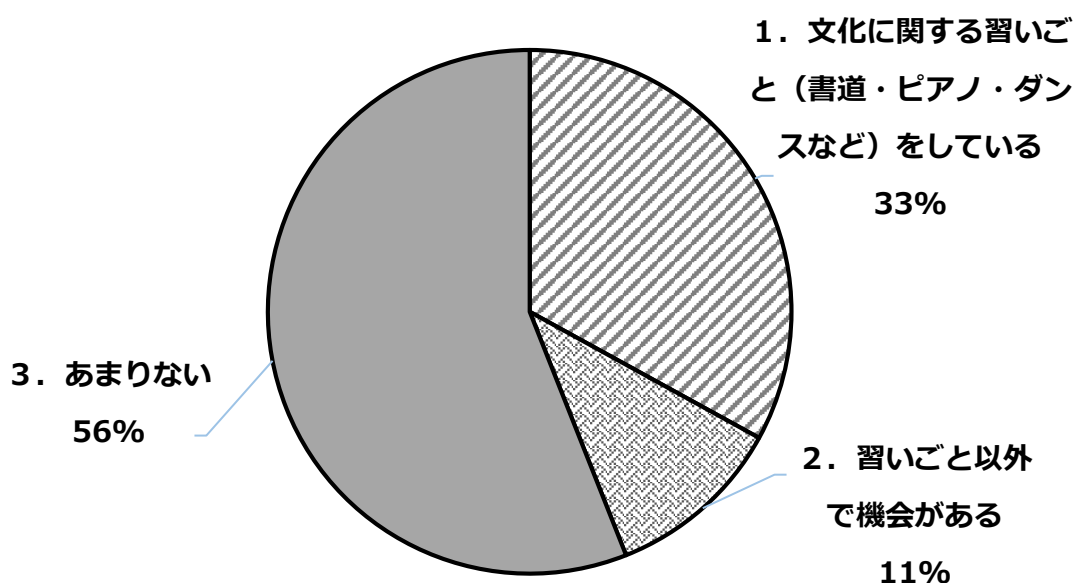
(参考) 令和3年度 40.9%

- ・文化芸術を鑑賞するために施設を訪れた子どもの割合は、前回より大きく上昇している。
- ・映画館の利用者数が一番多いが、映画館が市内にはない。アンケート問5で、市内に映画館がほしいという回答がある。

問3 お子さんがこれまでに利用したことのある公共施設をすべて選んでください。(複数回答) 単位：人



## 問4 お子さんには文化芸術を体験する機会がありますか。



- ・全体で約6割の子どもが、文化芸術を体験する機会があまりないと回答している。
- ・学年別では、小学2年生では51%、4年生では57%、6年生では54%、中学2年生では67%であり、小学生では全体と大きくちがいはないが、中学生になると習い事による体験の割合が減少した分、あまりないとの回答が増加している。

## 問5 お子さんが文化芸術にもっと親しむために必要なのはどんなことですか。

## (自由記述)

- ・子どもが興味を持って参加できる機会。
- ・子どもが気軽に参加できる機会（気軽な料金、騒いでもよいような雰囲気、触ったり壊したりする不安がないことなど）。
- ・お試しで体験できる参加型イベント。
- ・お試し体験でなく継続して達成感を感じられるカリキュラム。
- ・プロの演奏を聞く、アーティストと交流する、学芸員に教えてもらうなどの機会。
- ・学校行事で文化芸術イベント、体験学習、校外学習を行うこと。（友達と一緒にできる、各家庭により環境が違う、共働きで時間が取れない。）
- ・親が文化芸術に興味を持つこと。体験できる機会を与えること。
- ・参加できる時間。（習い事、宿題、部活に忙しい。）
- ・参加の機会の情報。YouTubeやSNSの配信。